

つなげよう つながろう
ふたさぼのわ



写真は追悼の
インフィオラータ



- ▶ 震災から12年 それぞれの3.11 (P2~4)
- ▶ お世話になったみんなへ感謝を込めて ありがとう集会 (P5)
- ▶ スマイルフォト (P6) ▶ 町からのお知らせ (P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・ふたさぼミニコラム・今月のオフショット (P8)

■ 発行：双葉町秘書広報課(☎0240-33-0125) ■ 企画・編集：双葉町復興支援員(ふたさぼ)

インターネットでも つなげようつながろう ふたさぼのわ

f 町公式フェイスブックページ ▼
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

 町公式ブログ ▼
<https://futabanowa.wordpress.com>



震災から12年

それぞれの3.11



東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から12年が経過しました。3月11日には各地で追悼の催しが行われ、震災で犠牲になられた方々のご冥福を祈りました。



双葉町産業交流センター

双葉町産業交流センターには、訪れた人が自由に献花できる献花台が設置されました。年々、参列者が減っていることや、遠方に住むご遺族の負担をふまえて、例年行っていた町追悼式を、自由に多くの方が献花できる形としました。

併せて会場では、双葉町復興支援員主催の追悼行事「フワローズエール」が開催されました。

花絵のテーマは「祈りのヒメメリ」で、フィンランド伝統の飾り「ヒメメリ」と双葉町の風景がモチーフとなっており「どれだけ月日が経過しても、震災前の景色や営み、震災で犠牲になられた方々に対する思いを忘れない」そんな祈りが込められています。

この日は、町民をはじめ県内外から訪れる人も多く、中には海外から来た人もいました。来場者は思い思いに花絵に花びらを添えたり、手を合わせたりして、追悼の意を表していました。大人と一緒に手を合わせる子どもたちの姿も見られ、震災の記憶や記録が後世に受け継がれる貴重な機会になったようです。



来場者の声

大学が休みなので、震災や原発について勉強したいと思って神奈川県から来ました。自分がまだ小学生の時に、同じクラスに避難のため転校してきた子がいたことや、宮城県の被災地を見に行ったこともあり、福島にも一度訪れてみたいと思っていました。

自分は震災の時小学2年生だったんですけど、自分よりもっと若い世代、震災を知らない世代がどんどん増えてきて、東北地方にもそういう人がたくさん生活するようになると思います。伝承館のような震災を後世に伝えていく施設ができたことで、この地域がどんな被害にあったか等を知って、そこに住む人たちに防災の意識を持ってもらえたらいいと思います。



今日は東京から来ました。双葉町には仕事の関係で何度か来ています。町の人たちもそうですが、伊澤町長とお話しさせていただいたこともあって、皆さんの頑張っている姿や、双葉町自体がとても好きで、双葉町のファンなんです！

この辺り（中野地区）にも建物が増えてきたし、駅に降りる乗客も増えてきたように感じます。

駅の西側には住宅もできて前向きな人たちがたくさんいるんだなという印象です。

震災から12年経って、化とまではいかないけど、あの時の緊張感というか緊急事態感みたいなものは良い意味でも薄れてきていると思います。福島の中にも、復興の進み具合では時間差があるというのを私は凄く感じているので、復興はまだなんだよということを自分ももっと知っていきたくし、みんなにも知ってほしいと思います。



旧騎西高校(SFAフットボールセンター)

埼玉県加須市の旧騎西高校(SFAフットボールセンター)では、双葉町埼玉自治会主催の追悼式が行われました。会場にはご来賓の角田守良加須市長や会員をはじめ地域の人など70人以上が訪れ、震災で犠牲になられた方々のご冥福を祈りました。



双葉町埼玉自治会会長

吉田俊秀さん

震災から12年。町の復興については、これから進んでいくはずなので大丈夫でしょうという気持ちで、あまり心配はしていません。ゆっくりだんだん進んでいけばいいと思っています。



復興公営住宅 勿来酒井団地

いわき市にある復興公営住宅 勿来酒井団地では、3・11追悼イベント「ふくしまの未来を繋ぐ」が開催されました。

主催の一般社団法人Tecoは、令和4年度より毎月、勿来酒井団地集会所で交流会を開いて、団地の住民や地域の人のたちとの交流を図ってきました。共催の勿来酒井団地自治会と勿来酒井地区自治会協議会は、団地の供用が開始された平成30年以降、共同の畑で芋掘りなどを行い親睦を深めてきた経緯があり、三者それぞれが協力して今回のイベントを作り上げたそうです。

イベントには団地住民や地域住民など、多くの人が訪れました。オープニングセレモニーでは、子ども縁日としてお菓子のばらまきや、郷の会による花笠踊りと投げ餅など、どれもながらお祭りのような賑やかなもので、会場にはたくさんの方々の笑顔が溢れていました。

その後のステージでは歌やダンスが披露され、演者も観客も会場が一体となって盛り上がっていました。震災の発生時刻である14時46分には黙とうが行われ、参加者全員で震災で犠牲になった人たちへ鎮魂の祈りをささげました。

震災から12年。この日、この時間を誰かと過ごしたいという思いが集まった皆さん。晴れ渡る青空のもと、その思いを共有できたのではないのでしょうか。



一般社団法人Teco 代表 小沼満貴さん



Tecoは市内16カ所にある復興公営住宅に住む人たちの交流支援をはじめ、水害被災地の支援なども行っています。

様々な団地に支援で入る中、勿来酒井団地は会長さんが積極的なことに加え、地域の方も友好的で、お互いに良好な関係を築けています。ぜひ13年目の今日をこの団地で皆さんと交流できたらと思います、イベントの開催に至りました。

私たち法人は、自分たちが楽しんで取り組むことはもちろんですが、人の顔が見えるつながりが広がってほしいなという

思いで活動しています。団地の皆さんとも、きっかけは「支援する」「支援される」の関係性だったかもしれないけれど、今は家族や友達のように関わり合っていますし、今日のイベントにもたくさんの方が来てくれました。イベントというと、場所や催し物、飲食店などに魅力を感じてお客さんが来るのかもしれないが、それ以外にも誰かの顔が見たいとか、誰かと一緒に来たいとか、そういったきっかけで訪れる人がいることが、まっすぐにもつながっていくのではないかと思います。

コミュニティ維持の課題は確かにありますが、先のことがどうなるかは誰にもわかりませんが、今の瞬間をできるだけいろんな人と同じ目線で関わって、点と点をつないでいくことを意識して私たちは活動を続けていきます。



緑の下の力持ち！
自治会長さんたちです



ありがとう集会

お世話になったみんなへ感謝を込めて



3月2日、いわき市錦町の双葉町立学校仮設校舎体育館で、幼稚園、小・中学校合同のありがとう集会が行われました。

今年度の卒業生は、幼稚園、小・中学校合わせて11人。卒業生に最後の思い出作りをしておうと、5年生が中心となって集会の準備をしたそうです。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、久しぶりに開催されたありがとう集会では、大沼校長から「ありがとう」という言葉はとても優しい言葉です。みんなが優しくさでいっばいになるように、たくさんありがとうを伝えよう」と素敵なお話がありました。

メインイベントは『じゃんけん列車』です！お友達同士でじゃんけんをして、負けた方が列の後ろに着く、を繰り返して、だんだん大行列になっていくというもの。先生方も参加して、各所で白熱したじゃんけんバトルが繰り広げられます。

3回戦の後、それぞれの勝者からはお世話になった皆さんへメッセージが送られました。



大きく羽ばたく皆さんを拍手でお見送り！



「卒業おめでとうございます！」



「これからもよろしくお願ひします！」



「仲良くしてくれてありがとう！」

ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



3月13日(月)
双葉中学校 卒業証書授与式
(いわき市)



3月15日(水)・16日(木)
双葉町県南双樹会 箱根方面研修旅行
(神奈川県)



3月23日(木)
双葉南・北小学校
卒業証書授与式
(いわき市)



3月23日(木)
ふたば幼稚園
修了証書授与式
(いわき市)



3月25日(土)
ふれあいクラブ ボーリング大会
(いわき市)

今月の情報掲示板はお休みします

双葉町食生活改善推進員だより

食生活改善推進員(愛称:ヘルスマイト)とは、“私たちの健康は、私たちの手で”をスローガンに町民の皆さんと行政をつなぎ、食を通して健康を考えるボランティア活動組織です。



令和5年2月に、双葉町食生活改善推進員協議会の集会を双葉町役場にて開催しました。震災後初の開催で12年ぶりに7人の推進員が集まり「広範囲に避難している中でどのような活動ができるのか」など今後の方向性について話し合いました。



双葉町食生活改善推進員協議会 中村富美子会長から一言

震災から12年が経過し推進員も県内外に避難した状況の中、集会を開催し活動再開に向けて動き出しました。今後の活動等について有意義な話し合いもできました。自分も含め周りの人の健康状態はどうでしょうか？良質な食生活習慣を意識し継続することで健康が維持されます。

皆さんも私たちと一緒に楽しく健康づくりを進めてみませんか？



震災後福島県内外に避難し、活動が難しい状況が続いておりましたが、双葉町への住民帰還が始まったことをきっかけに、今後は、栄養教室などの町事業に参加することから活動できるように計画しています。また、健康的な食生活に関するPR活動もしていきたいと考えています。

双葉町民の皆さんへ食生活の大切さを伝え、健康への意識を高めるために一緒に活動できる方を募集しております。
私たちと一緒に活動してみませんか？



令和5年2月7日
双葉町食生活改善推進員協議会集会
参加推進員

問い合わせ、および活動に興味・関心のある方は、下記事務局までご連絡ください。

事務局:双葉町 健康福祉課健康づくり係 (☎:0240-33-0131)



放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

令和5年3月24日

- ①郡山市 日和田応急仮設住宅 …… 0.11~0.23
- ②福島市 県北保健福祉事務所 …… 0.12
- ③郡山市 県郡山合同庁舎 …… 0.08
- ④白河市 県白河合同庁舎 …… 0.07
- ⑤会津若松市 県会津若松合同庁舎 0.06
- ⑥南会津町 県南会津合同庁舎 …… 0.04
- ⑦南相馬市 県南相馬合同庁舎 …… 0.06
- ⑧いわき市 県いわき合同庁舎 …… 0.06



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

原子力規制委員会ホームページより
※「細谷地区 消防屯所前」は3月22日測定

地区	地点	平成24年 4月1日	令和5年 3月24日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.14
新山	新山公民館	—	0.13
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.16
新山	双葉南小学校	—	0.18
新山	双葉中学校	—	0.17
新山	県立双葉高等学校	—	0.19
新山	中央公園	—	0.20
新山	高万迫	—	0.64
下条	双葉総合公園	2.60	0.50
下条	双葉町役場	—	0.20
郡山	郡山公民館	1.48	0.26
細谷	双葉町仮設処理第一施設北側	—	0.33
細谷	消防屯所前	—	0.58
細谷	細谷公民館	—	0.27
三字	三字公民館	2.53	0.13
山田	山田農村広場	24.47	2.78
石熊	石熊公民館	12.10	1.44

地区	地点	平成24年 4月1日	令和5年 3月24日
長塚	双葉町体育館	6.25	0.38
長塚	長塚二公民館	3.26	0.20
長塚	双葉町青年婦人会館	—	1.15
長塚	町西住宅	—	0.16
長塚	JA ふたば北部営農センター	—	0.91
長塚	双葉北小学校	—	0.34
長塚	ふたば幼稚園	—	0.99
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.25
長塚	双葉町児童館	—	0.21
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.27
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.31
寺松	寺松公民館	3.46	0.64
渋川	渋川公民館	1.48	0.29
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	0.48
中田	中田公民館	0.77	0.16
両竹	両竹公民館	0.54	0.07
浜野	双葉町産業交流センター	—	0.04

全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<https://www.erms.nsr.go.jp/nra-ramis-webg/>

ふたさぼミニコラム

今年は3月上旬から暖かい日が続き、花粉も各地で大量に飛散しているようです。

私も花粉症なので、外出時はティッシュ・目薬・点鼻薬を持つようにしています。

春の暖かい陽気の中、桜の写真を撮りに行ったり、公園を散歩したりと外で活動することが好きなのですが、症状もひどく花粉対策グッズで荷物が多くなることに悩まされています。

花粉を気にせず春を思いっきり楽しみたいので、花粉症の方もそうでない方も何か有効な対策や治療法などを知っていただけると嬉しいです。

情報をお待ちしております！ 遠藤 順之

今月のオフショット 花絵はこうやって作ります

